

作業療法 第41巻 第5号 (通巻230号) 目次

◆巻頭言

[最近の学術大会に参加して思うこと](#) 務台 均 511

◆学術部報告

[作業療法疾患別ガイドライン](#)

—パーキンソン病— 小野 かおり・他 513

◆原著論文

[外出に支援を要する脳卒中者が電動車いすの利用に至るプロセス](#)

—TEA による分析から— 亀井 将太・他 522

[身体障害領域における作業療法士の職業的アイデンティティ形成に影響を与えるプロセス](#)

—分析—複線径路等至性モデル (TEM) を用いた分析— 高橋 慧・他 531

[作業療法学生に保持されている認知症患者に対する潜在的認](#)

[知](#) 黒川 喬介・他 542

[介護老人保健施設の作業療法士が実施する介護職と連携したクライアントへの支援のプ](#)

[ロセス](#) 森木 勇一郎・他 551

[医療観察法病棟の対象者が自身の入院処遇に対して抱く思いの変化のプロセ](#)

[ス](#) 南 庄一郎 559

[集中作業療法は脊髄小脳変性症患者の上肢機能と認知機能を改善させ](#)

[る](#) 園田 悠馬 568

[頸髄損傷者むけ上肢機能評価「GRASSP」の本邦における臨床的有用性の検](#)

[証](#) 高浜 功丞・他 577

◆実践報告

[僧帽筋麻痺に対するEden-Lange変法による筋移行術後のリハビリテーションの1](#)

[例](#) 勝山 このみ・他 586

[ポジティブ作業評価における関与度推定システムを活用した作業療法実践の臨床有用性](#)

—事例報告— 野口 卓也・他 592

[母指に限局した運動麻痺に対して持続的神経筋電気刺激下の促通反復療法を実施した脳](#)

[卒中急性期の一例](#) 豊栄 峻・他 602

[重度の陽性症状を有する慢性期統合失調症患者1例に対する園芸活動介](#)

[入](#) 木納 潤一・他 610

[脳卒中後重度上肢麻痺に対する自主練習として上肢リハビリテーション支援システムを](#)

[用いた一例](#) 浅生 千晶・他 618

編集後記

▶本号の巻頭言を読んで頷いている。最近の学会はオンラインかハイブリッド形式が多い。開催側のご苦勞に感謝しながらも、顔を合わせてのコミュニケーション、さまざまな方向からの質問、突発的な議論、周りから聞こえてくる会話の中にも情報量が多かったのだと実感している。一方で、このような制約が生じた環境の中で、自分の都合に合わせて視聴できるメリットもある。それを生かすには、現地に赴かず職場から離れていない状況下で、時間を確保し自分から情報を求める意志と姿勢が必要ではあるが、学術誌も含め、さまざまな方法で得た情報から研究・臨床実践の種を見つけ、育て、何をどこまで解決できるのかを楽しむ心の余裕とチャレンジ精神を發揮したい。(M・N)

▶第 56 回日本作業療法学会が開催される。現地開催とオンデマンド配信のハイブリッド形式（原稿執筆時点）となるのは現状やむを得ないが、3年ぶりの対面学会である。知的好奇心を最大限に刺激する時間になるだろうと今から期待している。ユニークな発想に基づく研究や実践に触れることは貴重で、そのような機会は対面学会に参加することで多く得られると感じている。オンライン学会では、予想外の取り組みに遭遇する確率がどうしても低くなってしまう。しかし、どの形式で発表したとしても、その取り組みを論文化することの発信力に勝るものはない。本号の巻頭言にある通り、作業療法関連の論文掲載数は少ない。会員諸氏からのさらなる投稿を期待したい。(K・Y)